



# 浜風 HAMAKAZE 風

14.3 vol.8

発行：青森県漁業士会  
青森県水産振興課内  
TEL 017-734-9593  
編集：「浜風」編集委員会  
印刷：東北印刷工業(株)

## 苦難、笑いありのアメリカ研修

～ 漁業士海外派遣研修 ～

東青漁業士会 山縣 勝彦（野辺地町漁協）、井筒 栄一（平内町漁協）  
むつ支部会 畑中 道安（むつ市漁協）、林下 智（泊漁協）、むつ水産事務所普及課 技師 白板 孝朗

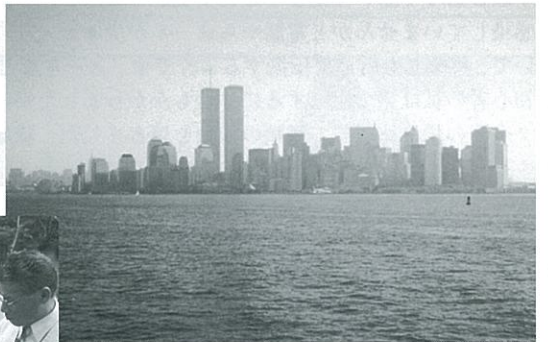
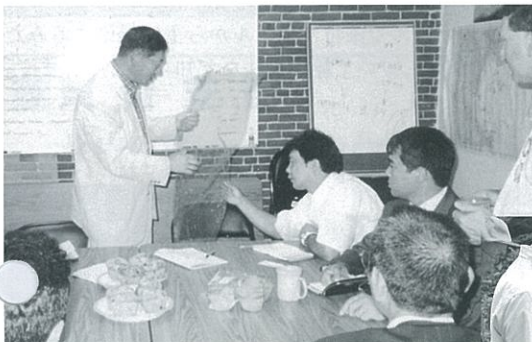


海外研修参加メンバー  
左から畑中氏、山縣氏、自由の女神、白板氏、井筒氏、  
同行した長崎島の松本氏、林下氏

今回の漁業士海外派遣研修事業はアメリカでの増養殖、先進地市場の視察研修というメニューでした。

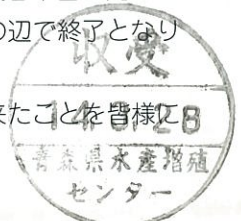
メイン州では、まず「海洋資源局研究所」を訪問し、養殖業の取組みを学びました。特徴的なことは、漁業権制度がなく、養殖場所は政府からレンタルしていることでした。養殖業はメイン州にとって大きな産業の一つとなっていますが、当地区は有名な観光地、別荘地となっていることから、環境悪化、景観を損ねると考えられている養殖業は非常に厳しい立場にたたされています。

「ポートランド市営市場」の設備は立派なもので、水揚げから商品陳列、トラックへの積み込みまで、効率の且つ衛生的に行われていました。陳列される広大な部屋は常に温度管理されていました。



その後、ニューヨーク、サンフランシスコと訪問し、各地の取組みを学びました。ニューヨークでは今はないツインタワービルを拝むことが出来ました（我々は紙一重で帰国）。サンフランシスコ到着時には、添乗員の荷物が紛失し、後日中国で見つかるというハプニングもありました。他にはよだれの出るような話もありますが、字数制限がありますので、この辺で終了となります。

全体的にハードなスケジュールでしたが、笑い話もあり、和やかに研修が終了しました。実り多い研修に出来たこと各皆様へ感謝申し上げます。



## 三八支部

### IT研修に参加して

階上漁協 坂下 利助

北西の強風がまともに吹きつける海洋学院の学舎に定刻少し前に入り、学院長室に百石漁協のN氏と共に挨拶に伺い、IT研修や漁模様などの情報交換をしながら開講時間を待ちました。

ITルームに入ってみますと、真新しいPC（パソコン）が10台、疲れにくい豪華な椅子付きで並んでありました。受講者9名中、漁業士から4名も参加して平均年齢を高めており、年に関係なくIT革命は進んでいると始まる前から熱気を感じました。

最初はITとは?とか、PCやキーボードの説明などを受け、マウスの操作に慣れるため午後から『ソリティア』と言うゲームに挑戦、クリックしてドラックを繰り返して講師の方のお話も理解できるようになり指の動きも良くなったところで帰宅。

翌日は、ワードパットで文章の作成をすることになりました。受講者の中には既にPCを購入している方も何人かおりましたが、初歩的なことが分からない初心者が多く、講義はゆっくりで『文字の大きく見える眼鏡』をかけ替える余裕をもって進みました。

これで、受講者一同、簡単な案内状はお任せという事になるのかな？

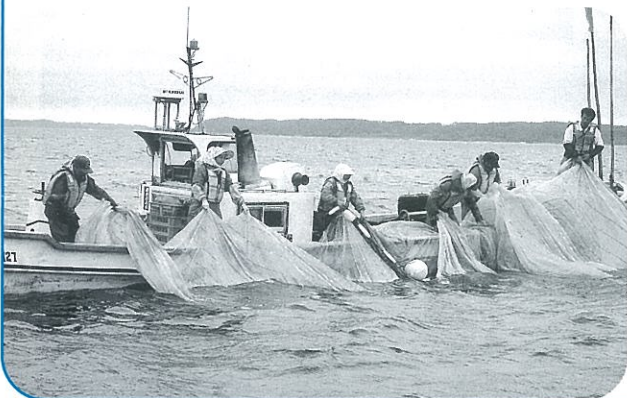
この日の午後はインターネットに接続し、はちのへ漁協のホームページを検索して活魚販売や観光遊漁船の紹介等の情報収集したり天気予報をみたり、インターネットとは講師のお話によれば世界中のあらゆる情報が入手できるとか！カルチャーショックを身をもって体験し、早速、研修会のスタッフに今回使用しているPCを手に入れたいと購入の方法等アドバイスを受けている漁業士の方もおりました。

最終日はメールの交換の仕方を受講、お隣同士挨拶文を作成しメールの交換、短い期間で良くここまで出来たものと研修生一同、講師の方に感謝しつつIT研修を終了しました。

早速、我が家に帰り購入したばかりのPCでメールの着信点検、添付ファイルも何通か入っており先ほど習った添付ファイルの開き方の手順どおりで開いて見ますと英字文がいっぱい、チンプンカンプンでそのままにして置きました。1時間ぐらい経ちましたら、ウィルスに感染していませんかと電話やらメールが次々と入りパニック状態！バッドトランスBというウィルスで添付ファイルから主に感染するみたいで、感染した時点で伝染するようです。メールなどを取り扱っている所『プロバイダー』で監視していて駆除方法など知らせてくれます。初心者の私は完全駆除するに2日もかかりましたが何とか自力で操作し危機を脱出しました。

今回の総決算として原稿の依頼を頂きました、篠原女史にメールで送信いたします。

(すばらしいです！研修の成果がバッチリ現れてますね。：事務局)



### 小川原湖の救命胴衣着用状況について 小川原湖漁協 沼辺 正孝

わが漁協の救命胴衣着用率は、船曳漁についてはほぼ100%です。平成9/10年に操業中の水難死亡事故が2年続けて発生し、それから救命胴衣の着用を義務付けました。

漁協では、助成金を出し操業者に救命胴衣を購入し着用させるよう、また、漁協役員により操業中の船を回り指導してきた結果、操業者の理解もあり、現在のよい状況になったものです。

組合では、ほかの漁種でも指導を行っており、作業しやすく着やすい救命胴衣を操業者に提供しております。また、操業者は自分の命を守り、ほかの操業者に迷惑を掛けないという認識を持って操業し、ほとんどの方が救命胴衣を着用しております。

## 日本海支部

### 明け方と夕暮れの出来事

大間越漁協 中村 利男

6月6日の午前4時、いつものように沖に行く準備をしていると、漁船転覆の連絡が飛び込んできました。中村正太郎氏と急いで船に乗り込み、沖合200mの現場へと向かいました。そこには、刺網に引っかかって転覆した船と、幸い岩にたどり着くことが出来た地元漁師の人がいました。なにはともあれ無事でいてくれたことにほっとし、いっしょに港へ戻ったのでした。

無事を喜んだのもつかの間、その日の仕事を終えた午後7時ごろ、翌日の天気模様を見るため、すでに薄暗くなり始めている沖の雲の様子を眺めていると、様子がおかしい船を発見しました。もしや転覆しているのではと思い、再び中村正太郎氏に連絡を取り、2人で沖へ向かいました。現場には転覆した船につかまっていた2人、近くを泳いでいた2人、沖の岩に取り残されていた4人の合わせて8人を救助しました。

長い間漁師をしています、1日に2回も救助をするなんて初めての事です。無事に助かったことはなによりですが、穏やかに見える海も常に危険をはらんでいることを実感し、これから更に安全に気をつけなければと再認識した1日でした。

(救助にあたった中村利男さん、中村正太郎さんには後日鯉ヶ沢警察署より感謝状が贈られたほか、救助劇が全国ネットのTV番組で紹介されました。：事務局)

## ■むつ支部

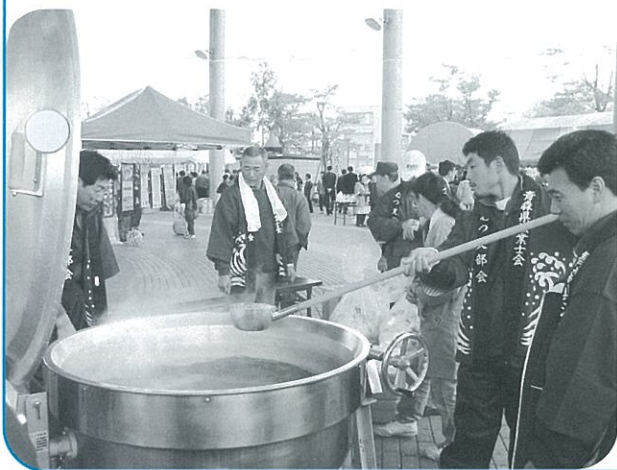
### 大間でマグロ漁好調

平成13年の大間のマグロ漁は、例年になく大型魚が多く水揚げされました。1～12月の1年間で100kgのマグロが561本で、10月には1日で50本以上あがったときもあり、下処理をする漁協職員が悲鳴をあげる日もありました。

また、魚体の大きさも、12月に370kg（エラと内臓を除去した重さなので、元の体重に換算するとおよそ410kg前後）を最高に、200kg台も数多く水揚げされました。

大間で水揚げされるマグロは、標準和名がクロマグロで、その若魚である体重10kg前後のメジは、定置網などで水揚げされます。しかし、大間のように100kg以上の大型魚がこんなに獲れる所は全国的にも珍しいです。現在、水産物などもブランド化による付加価値向上を目指している地区も多いと思いますが、大間マグロはブランド化の最たる成功例といえるでしょう。

これで280kgくらい。



### 豊漁・豊作祈願祭

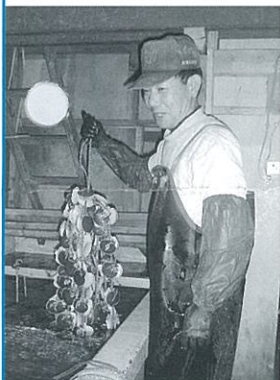
平成13年10月27日にむつ市まさかりプラザで開催され、鮮魚直売や餅つき大会、ビンゴゲームなど、楽しいイベントで盛り上がりしました。

会場では、サケ汁・ちゃんちゃん焼きが来場者に振る舞われ、大鍋の前には長い行列が出来ていました。



## ■東青支部

### 平内の浜は、耳吊り作業最盛期！



平内町漁協 逢坂 喜八  
今年、カサネカンザシ・ウズマキゴカイの付着は多いものの、成長は順調で、へい死も少ない。大きな時化もそれほど続かず、作業は順調に進んでいる。

7月以降の「新貝」出荷に向けて、昨年の単価安が回復することを期待して、作業に力が入る毎日である。

耳吊り作業は、平内町全域では4月頃まで続けられる。

### 宝の海 陸奥湾で ホタテを拓く！

笹原一豊（青年漁業士）さんは、3月2日に「栄進丸」（4.9トン、エンジン・ヤマハ90馬力）を新造しました。

親父（一栄）さんのホタテにける夢を引き継ぎ、家族を支えるため、新造船とともに陸奥湾へ立ち向かいます。



### 大漁！でも…

平館村漁協 高坂 嘉男

なんとか、なんとも……！

「厳しい」という言葉を良く耳にする。「経営が厳しい」、「漁業を取り巻く状況は厳しい」など、決まり文句のように良く使われている。厳しい状況が続く、厳しさにはある程度慣れてはいるものの、昨年の厳しさは大変なものであった。ホタテだけでなく、ヒラメも安かったのである。値段が安いのは、不景気で需要がないからと言われているが、それでも正月前には魚の値段が高くなり、いい気分を年を越すのが例年のパターンである。

ところが、昨年は正月前なのに逆に値段が下がり（大：1,600円/kg、P：500円/kg）、期待していた収入が得られなかったのである。漁師になってから14年になるが初めての経験である。なぜ安くなったのか。それまで続いていた時化がおさまり、県内の水揚げがこの時期に集中したということらしいのだが、何とかならないものだろうか。量が多いと値段が安くなるのは分かっているのだが、なんともやりきれない思いである。ホタテも安かった。その原因もいろいろあり、生産者として取り組まなければならないこともある。最近気がついたことであるが、県内で売られている大きい貝は、ほとんどが他の県で作られたものである。陸奥産のホタテが見当たらないのである。これも何とかならないのだろうか。

# 新規会員紹介

平成14年1月9日に県民福祉プラザで行われた「第43回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会」において、県より漁業士認定証が授与され、8人が青森県漁業士会に仲間入りし、2人が指導漁業士へ移行しました。

## 青年漁業士

男女共同参画が叫ばれ、漁業もいよいよ女性の時代？とはいかないまでも、女性目で見、女性だから出来る事が必ずあるはず！  
安定した漁家経営と明るい漁村、そして魚の棲める海を目指して微力ながらがんばりたいと思っています。



鯉ヶ沢漁協女性部  
長内 詩子



## 指導漁業士



鯉ヶ沢漁協女性部  
三ツ谷 栄子

私達女性は、生産や生活の様々な面で力を合わせ社会的、経済的地位を高め、漁業の活性化の為に果たす役割が重要となってきていると思います。  
健康食として優れた蛋白質資源を供給する漁業の仕事に誇りを持ち活動して行きたいと思っています。



尻労漁協女性部  
向井 彰子

初めまして、向井彰子と言います。S27・5・28、辰年生まれの金星人です。  
小さな漁村に嫁いで30年になります。義父・夫・長男・次男そして孫が男、男所帯の中でまた、指導漁業士の男性ばかりの仲間に入らせてもらう事になり、今まで以上にはりきっていますのでこれからも宜しくお願い致します。  
主人と二人で漁に出かける時は「救命具着たが？」を合言葉に安全操業に気を付け、今までやってきた活動を中心に上部団体との連携をとりながら地域の活性化を目指して行きたいと思っています。



平内町漁協女性部  
江戸 英子

帆立養殖に従事して30年余りになりました。家族は、両親と妻に子供3人です。  
父が病気で帆立養殖から退いてからは、忙しい帆立出荷時期や採苗時期には人夫を雇って妻と頑張っています。  
今は、漁業者にとっても、厳しい現況ではありますが安定した漁業生活が出来るように努力していきたいと思っています。



青森市漁協  
中村 久雄



野辺地町漁協女性部  
野坂ナリ子

野辺地町漁協女性部長となって2年余りですが、日頃何かと支えてくれる役員を始め、部員が温かく見守って下さるおかげと感謝致しております。  
我が家は夫と二人でのホタテ養殖を主とする漁業者です。漁業や町の行政、普及所、地域との交流の中で、森と川、海を守り浜の活性化を目指して夢と現実の中、ホタテの価格の安定を願い、年に1回の部員旅行を楽しみに働いております。今後とも県や普及所の良きご指導を宜しくお願い致します。

平内町漁協女性部副部長の江戸です。この度青森県漁業士の一人として仲間入りさせて頂くことになりました。浅学非才な私は、ホタテ養殖を始めて30年になります。今後の活動に少しでもお役に立てる様に頑張りたいと思います。

## 指導漁業士へ移行しました。



鯉ヶ沢漁協  
小山内 実

漁業士の認定から早くも15年にもなり県農林水産部、漁業関係各位の皆様には日頃御世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。あつという間の15年間でした。これからはより一層皆さんと一致協力して頑張りたいと思います。



小田野沢漁協  
川村 久雄

今回指導漁業士になりました小田野沢漁協所属の川村でございます。地域漁業発展のため皆様方の御指導を受けながら育てる漁業、付加価値の高い漁業を目標にして漁協と一体となり頑張りたいと考えています。

脇野沢で定置網・ホタテ養殖を手伝っております。この度指導漁業士などと大変なものに認定されてビビっております。が、これを機会に、若い皆さんと私達の漁業の為のあれこれを沢山学んでいこうと思っています。どうぞよろしく!!



脇野沢村漁協女性部  
立石由喜子



佐井村漁協  
内田 昇治

現在漁業を取り巻く環境は一段と厳しいものがあります。指導漁業士として組合経営の安定と漁家経営の向上、そして明るくゆとりのある漁村づくりのため、より一層の努力を傾注して参りたいと思います。

## 編集後記

本号は、海外研修の話題やIT研修にまつわるおもしろ話(?)など、なかなか楽しいものになったと思います。すでにパソコンをお持ちの方は、メールにてネタ提供よろしくお願ひします。また、この度、県内初の女性漁業士が誕生しました。今後の活躍が期待されますね。

(記：普及育成班 篠原 由香)

連絡先：むつ支部 0175-22-8626  
三八支部 0178-27-5858  
日本海支部 0173-72-4300  
東青支部 017-774-0772